

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援びったんこ		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが慣れており、日々工夫してご両親などと上手くいっている</li> <li>・元特別支援学校教員がいる</li> <li>・看護師が在籍し、医療的ケアが必要な利用者の受け入れができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に話をしている。療育内容をしっかり工夫して行っている。</li> <li>・各利用児の発達段階を速やかに判断し、臨機応変に療育課題を設定できる。</li> <li>・転倒によるけがや施設内で感染が発生しないよう留意している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃなどの充実</li> <li>・その知識を他のスタッフと共有する。</li> <li>・営業活動により、利用者数を増やし、人員、設備の充実を図る</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもさん一人一人にしっかりついて療育できている。子どもにもお休みがあればより手厚いことができる。</li> <li>・児童の保護者と綿密にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いている</li> <li>・カリキュラムや枠組みにとらわれない支援を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によってさまざまなあそびやみんなで楽しめている。他の子どもさんともかかわってあそぶこともできている。</li> <li>・送迎の際にその日の体調や困りごとを適宜確認している。また必要に応じて面談の機会を設ける</li> <li>・子ども達が自ら興味を持ってくれること、今までにない気持ちや体験を味わってもらえることを意識して取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事テーブルやイスなど姿勢をもう少し工夫してみたい</li> <li>・限られた時間ではあるが、子ども達の心理的な変化や成長に沿って集団での活動が増えてもいいと思われる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の預かり療育。一人一人にゆっくりかかわれる。</li> <li>・1対1の個別療育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1の成長に寄り添えるように担当制を設け、保護者から気楽に悩みを打ち明けてもらえるように信頼関係の構築を大切にしている</li> <li>・1対1の完全個別療育で、子ども達と時間をかけて信頼関係を築くことで、場所やスタッフに安心して心を開き、楽しい！に重きを置いた療育を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々お話しする時間はあるが十分に時間を作れていない為、お迎えまでの業務を効率化し、お迎え時スムーズに対応をして時間を作っていきたい。</li> <li>・見学に入っていたい保護者に都度療育内容、思いを説明しながら進めていくことで、保護者にも安心していただけるように努める。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の少なさ</li> <li>・有給を取得するには勤務スケジュールの調整が必要</li> <li>・人手が足りないと思う時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日によって休憩がとりにくく、また目が離れないようにするのに用意などできない</li> <li>・利用者数が増えればスタッフを増員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば多職種(OTや保育士さんなど)が増えてくれて多角的に見れたらうれしい</li> <li>・利用者の獲得</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の対応の時間の難しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15時に帰る子と15時に来る子で入れ替え時に危ない場面やバタバタしやすくミスしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別担当のセラピストは預かり療育と別にしていく。もしくは15時30分から個別にするか。</li> <li>・身体の子は個別の受け入れにしていくな(走り回ってしまう子の対応は特に危ないことあり)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型遊具の不足</li> <li>・療育に必要な物品が十分に備わっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所1年未満で必要物品を十分に検討している段階のため</li> <li>・資金力が潤沢ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来てくれている子どもに相応しい物品を準備できるよう時間をかけて考える必要がある。</li> <li>・不要なおもちゃ等の寄付をつる。利用者数増加を図り、資金増を目指す</li> </ul>